

カツオ



生態的特徴等

【生態】

太平洋に広く分布しており、日本近海では春に上りカツオとして房総沖～三陸沖を北上索餌回遊し、秋には戻りカツオとして南下回遊する。春に北上する群は3歳、3kg程度までのカツオで、これより大きなものは亜熱帯～熱帯海域で産卵回遊する。成長は早く、1歳で尾叉長約45cm、2歳で約60cmになる(図1)。寿命は12歳以上、最大120cmの報告もあるが、概ね8歳、80cmくらいまでが漁獲されている。動物プランクトン、魚類、甲殻類、頭足類を餌とする。

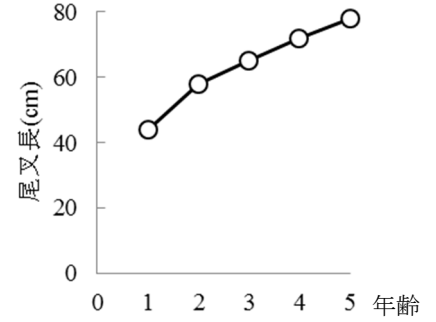


図1 カツオの成長

【漁法と盛期】

主に、近海竿釣やまき網により漁獲される。

茨城沖では、初夏に北上する群、秋に南下する群の漁場が形成され、本県小型船による曳釣や、他県の近海竿釣により漁獲される。

【利用】

EPA やビタミン D、鉄分を多く含む。刺身やタタキとして生食されるほか、缶詰やかつお節などの原料としても利用される。県庁所在地の1世帯当たりの消費量が全国3位と多いことから、県の旬の魚(夏)に選定されている。(H7年)

<h2 style="color: red;">資源は高水準だが、漁獲量は減少傾向</h2> <p>(漁獲量) 近海竿釣による漁獲量は、H1～17年までは3～6万ト前後で推移していたが、H18年以降は減少傾向にある(図2)。</p> <p>県内漁獲量についても減少傾向にあり、近年の漁獲量は非常に少ない(図3)。</p> <p>(水準と動向) 国の資源評価(H29年)によると、資源水準は「高位」、動向については記載がないため、「空欄」とした。</p>	水準
	 (国)
	動向
	 (国)

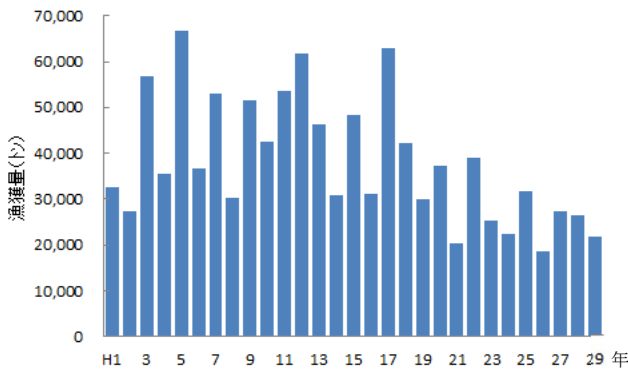


図2 東北主要港のカツオ漁獲量

千葉県から青森県沖で操業する近海竿釣の漁獲量で、国際水産資源研究所の集計値

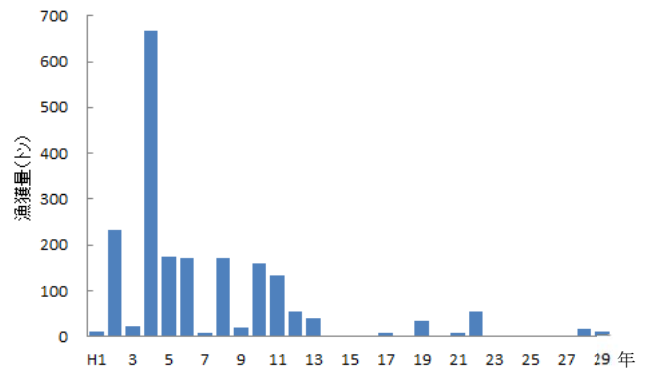


図3 茨城県のカツオ漁獲量

(水試システム、全漁法、属地 ※まき網・近海竿釣りを除く)

【全国の漁獲動向】

漁獲量第1位は静岡県。2位は東京都、3位は宮城県。(H29農統)

評価期間：平成29年1～12月 更新日：平成30年11月1日